

【企業概要】

業種：和菓子製造販売業 従業員数：5名
 支援テーマ・内容：[経営革新・ものづくり]小売店からメーカーへの飛躍

【支援に至った背景～経緯】

亀山商工会議所の支援としては、これまではベーシックなものが中心であったが、意欲的な後継者のもと、近年の食品偽装や東日本震災後の放射能汚染の問題など、消費者の食の安全性に対する関心の高まりもあって、最近はより技術的な支援にシフトしてきており、三重県の各種施策を積極的に活用して、高度・専門的な支援を受けることで更なる飛躍を目指している。

【支援の経過】

- 平成 22 年度上半期 県のEマークの認証前の商品カテゴリー確立支援
- 平成 23 年度下半期 経営革新計画の作成に関する支援
- 平成 24 年度第 1 四半期 経営革新計画の承認、ものづくり関連支援

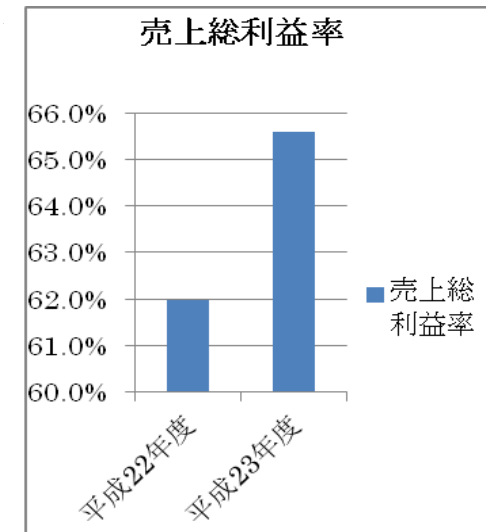
【支援のポイント】

- 直面する課題の整理
- ・短期的課題：主力商品の利益貢献度アップ（利益率・稼働率の向上）
 生産管理の徹底（食の安全・安心をハード・ソフト両面から）
 - ・長期的課題：売上アップ（経営革新：商品開発と販路開拓）
 味の追求とブランド化（産学連携：素材・加工技術両面から）
 - 三重県のEマーク認証：地域特産もち米（県内産100%）で商品力アップ、
 - 同経営革新計画の承認：新商品開発と季節商品の通年化・販路開拓、
 - 専門的な技術支援：3S⇒5S⇒7S、□更なる品質向上への調査・研究

【支援の効果・成果】

○三重県知事による経営革新計画の承認（地元紙への記事掲載）
 ～自社の“強み”を“機会”へ～（SWOT：“商品力”⇒“食の安全・安心志向”）

1. 誰に（新たなターゲットの設定）
2. 何を（プロダクトアウトの発想からマーケットインへの転換）、
3. どのように（他との差別化）とコンセプトを明確にしたうえで、さらなる事業を展開した結果、三重県のEマーク認証の効果もあって、売上総利益率は対前年比で4%アップし、同業界平均よりも、高い水準をキープしている。



【支援策企業の声】

- ・経営面・技術面の両面についての疑問点が解消され、更に理解が深まるなど、知っておいて損はなく、非常に参考になった。
- ・三重県のEマーク認証事業はありがたい制度であり、同認証事務が終了とのことで非常に残念である。何か代替りの仕組み作りが望まれる。
- ・支援機関とともに策定し、県の承認を受けた経営革新計画に取り組むことで、今後、新たな事業を展開していきたいので、本事業活動を通じて、もっと三重をアピールできるような支援策などがあれば、積極的に活用したい。